

要旨

日本の前髪文化の形成要因と反応に関する一考察

1220483 高杉 紀香

指導教員：中村直人

高知工科大学 経済・マネジメント学群

・研究背景

1つ目は、ヘスタイルやファッションに興味があったからである。

日本だけでなく海外の美容関連で影響力の大きい人物について SNS を通して閲覧することが多く、そのときに、日本女性には主流である「前髪」が、海外の女性の間では見当たらないことに疑問を持った。そのため、日本の前髪文化について日本人の文化的傾向性や身体、心理の特徴が表されているのではないかと考えた。2つ目は、筆者自身が専攻で学んでいる経済や経営の分野においても関わるからである。マーケティングにおいても日本人の特性を掴んで商品を売ることは効果的であり、この分野に活かすことができると考えた。3つ目は、「外見からの美」の情報はひとにとって重要であるからである。人は視覚の情報からものごとの多くを判断する。

・研究目的

我が国の前髪文化の形成要因を考察することによって、日本の文化的傾向性や日本人の身体、心理の特徴、美意識を明らかにする。

・調査・分析方法 文献調査とアンケート調査

・分析結果

文献調査では、まず、日本では前髪は多くのひとから支持を得ているが、それは海外ではまったく馴染みのないことであることがわかった。つづいて、日本には「かわいい」を追求する文化、「隠す」文化を美意識の基本に求める面、校則で前髪を規制する傾向があるということがわかった。そして、日本人は海外よりも特に顔の大きさや形の印象を重要視しているということがわかった。また、日本人の髪質はひとそれぞれであるが、日本に「髪をストレートにする文化」が根付いていることがわかった。

アンケート調査では、日本人が前髪を作る要因には、日本の「自己肯定感の低さ」、「自己主張を隠す文化」、「「かわいい」を求める文化」、「骨格」が挙げられるということがわかった。

・考察・結論

日本人が前髪を作る形成要因には、日本人の「「かわいい」を追求する文化」、「自己肯定感の低さ」、「自己主張を隠す文化」、「骨格」、「髪をストレートに保とうとする傾向性」が挙げられると考察する。また、「校則」が形成要因になる根拠を確認することはできなかったが、今でも日本で「前髪を作らないアスタイル」について規則を設けている学校は多くあるため、自由が効かないことは事実である。そして、日本の美意識には、①不完全なものに美しさを感じる面、②「隠すこと」を美德とする面、③「雅」が挙げられると考察する。